

夜間や休日の急な病気やケガ

病院へ行く？ 救急車を呼ぶ？ 迷ったらお電話ください



2024年5月7日スタート



# 救急医療電話相談

# 7 1 1 9

短縮ダイヤルがご利用できない場合（ダイヤル回線、IP回線など）は

076-444-4099

15歳未満のお子様は

## 子ども医療電話相談

# 8 0 0 0



短縮ダイヤルがご利用できない場合（ダイヤル回線、IP回線など）は

076-444-1099

相談  
時間

平日 19時～翌日午前9時

土曜日 13時～翌日午前9時

休日 24時間（日曜・祝日・年末年始など）

経験豊富な看護師などの相談員が、医療機関の受診の必要性や対処方法などをアドバイスします。

※この電話相談は、診療行為、医療行為ではなく、電話での助言により相談者の判断の参考としていただくものです。



**緊急・重症**の場合は、迷わず**119番**してください。





安心して救急医療を受診するために

# みんなの医療をまもるために、 お願いがあります。

「深爪をしてしまって血が出た」「とげが刺さって抜けない」

近年、このような軽い症状でも休日や夜間に病院の救急外来を受診される、いわゆる「コンビニ受診」が増える傾向にあります。このため、救急外来が混み合い、命にかかわる重症患者への対応が遅れてしまうことが懸念されています。また、病院の医師やスタッフの負担も増えて、心配されている「勤務医離れ」が加速し、やがて地域の救急医療が維持できなくなり破綻してしまう危険性もあります。

救急医療を守るのは、皆さん一人ひとりのモラルです。今後とも、身近な地域の救急医療を提供していくため、救急医療機関の適正な受診について、皆さんのご理解とご協力が必要です。

## 01 かかりつけ医を持ちましょう

「かかりつけ医」のお医者さんなら、  
普段の体調や家族の様子、病歴なども把握した上で、診察してもらえます。気軽に何でも相談できる「かかりつけ医」を持ち、早めの相談を心がけましょう。



## 02 なるべく 通常の診療時間内 に 受診しましょう

昼間の診療時間内なら、  
医師だけでなく、看護師、検査技師、薬剤師など、十分な医療スタッフがそろっていますので、検査や投薬などもスムーズに受けられます。

症状は重くないけど  
翌日まで待つのは  
ちょっと心配…  
そんなときは、

## 03 「#7119」「#8000」に相談しましょう

また、地域の休日夜間急患センターや休日・夜間当番医で診療を受けることも可能です。  
急患センターや当番医で「重症だ」と判断された場合は、救急医療機関を紹介して貰えますので、ご安心ください。

お問い合わせ

富山県危機管理局 消防課

☎ 076-444-4589

富山県厚生部 医務課

☎ 076-444-3219